

kuwvOB 通信

奥名様

8月上旬に日本に帰任します。

1年ちょっとのアメリカ、オレゴンでの生活でしたけれど、出張で行くのとそこの国の市民となって住むのとは大違い、人生に大きな意味を持つ貴重な体験でした。

前回はロードバイクのレポートをしましたので、今回は山スキーのレポートをします。

米国はロッキー山脈が有名ですが、その西側にカスケード山脈があります。シアトルから眺められるマウントトレーニア、別名タコマ富士と呼ばれる 4392m のワシントン州の最高峰です。その南にマウントセントヘレンズ 2550m。1980 年代の噴火で山頂崩壊した山でこの様子はユーチューブで見ることができます。その南のオレゴン州にマウントフット 3426m があります。オレゴン州の最高峰です。その南にも点々とカスケード山脈が連なるのですが、日本の山脈とは異なり全てが独立峰の火山で程全てが浸食によって尖がっており、秀麗な山容です。太平洋の海洋性気候の影響を受けて冬は雪が積もり、夏でも冷涼なので雪で白い山容です。

妻が先週まで 2 週間、ポートランドまで遊びに来していました。この時期、オレゴン州は雨が降ることが無く、比較的涼しくて(朝は気温 15 度ぐらい)バラも咲いていて最高のシーズンです。近くのバラ園や日本庭園の散策、マウントフットやクレイターレイクへのドライブを楽しみました。

以下、山スキーのレポートです。会社の山岳部の人に提出したレポートをベースにしています。

2/28

明日、マウントフットをスキーで登りに行きます。

初見なのであまり高くは登らないで適当に楽しんで来ようと思います。

オレゴンに 3 本のスキーを持って来ましたが、一番細い黄色の春用の板で行きます。

日本ではパウダー専用の紫色の極太スキーも使いますが、こちらでは出番がなさそうです。そり遊び場から登ります。先週雪があるのを確認してきましたが、今週オレゴンは季節の変わり目の大雪が降ったので、さてどうでしょうか。

日本の日本海側は大雪のニュースが流れています。直江津は添付の通り 1m 弱の積雪で普通でした。4 年前の豪雪の時の写真も添付します。この年は 2.5m の積雪でした。これだけ積もると玄関が見えなくて何だかわからないです。こんなに積もったのに毎日徒歩で出勤していましたね。

米国風の英文の登山計画書を添付します。アイゼン、ピッケルはドイツ語なので、英文だとアイスクランポン、アイスマックスになります。

下山しました。快晴微風の春の陽気。登山口のそりパークの駐車場からホワイトリバー沿いに登っていく。風景が私の地元の秋田の中島台から登る鳥海山によく似ていて、広大な白い斜面がどこまでも続いている。背後に見えるのはマウントジェファーソン。マウントフットと同じく山頂が尖がっていて美しい。標高 2600m 以上は岩が現れてくる。頂上付近の斜面の難易度は妙高山に似ていると思う。ただ、妙高山よりはマウントフットの方が 1000m 標高が高い。斜度的には大丈夫だと思うが、クラストしていたら私の技術では難しそう。2500m まで登りました。もう少し登りたかったが、1 年ぶりの登山なので、ばて気味でした。滑降の方は、気持ちのいい斜面でした。あっという間に駐車場に戻るも、そり遊びの家族が多くて、アイスピックまでパックに刺した完全装備だったので、場違いな感じでした。

3/7

今週末も先週と同様、Sno park から White river 沿いで Mount Food に行きます。

先週よりは上に登りたい。

Mount Food のスキーで添付写真の冊子を参考にしていて、表紙の風景がすごく良くてここを登ってみたいと思っていたのですが、先週登った White river からの尾根だということが解りました。

下山しました。

尾根上部の雪が融けてしまったかもしれないで、今日はホワイトリバー沿いに登りました。スノーブリッジが多く、渡渉なしで進めました。

谷の中は、左右の尾根から頻繁に落石があり、気を付けながら行く。日本でこれよりももっと多くの石が落ちている谷を登ったことは幾度とあるが、気温が低い割に落石が多いのはこの特徴みたい。あまりお勧めのルートではない。頂上はレンズ雲が覆いかぶさって強風。ホワイトリバー上部で雪面がクラスト斜面になったので、クランポンを装着してスキーを担いでいく。ホワイトリバーを抜けるとガリガリのクラスト斜面なのでここまでとしました。先週よりも標高は低かった。スキー滑降の準備をしているうちに空は晴れ渡り、頂上に飛行機雲が重なる。

クラスト斜面はそんなに斜度はないものの万が一転倒したら止まらないで、ジャンプターンで確実に下る。ホワイトリバーに入ると雪は緩んで快適な滑降。先週みたいに登りでバテることもなくそれなりに楽しみました。

4/4 錐ヶ岳 1316m

今、日本に居ります。

明日時間が取れたので、近くの錐ヶ岳に登ろうと思います。

マウントフットよりも 2000m 低いですけれど、こちらの方が険しい感じはします。

金冠山のトラバースでのブロック雪崩に注意して行ってきます。

2年前に登った時よりも1ヶ月遅いけれど雪は今回の方が多く、雪庇の発達も盛大でした。

昨日の直江津の冷たい雨は山では雪だった様でクラスト斜面の上に新雪が10cmぐらい。

金冠山のトラバースはロック雪崩が落ちてこないか毎度緊張する。

2週間前のフェーン現象で上越では30°Cを記録したので、この時に落ちるものは落ちてしまつたと思って登っていく。

新雪が溶け始めてスキーにまとわりつき団子になったので担いでいく。

快晴無風の頂上。頂上小屋の避雷針だけが出ていた。通常4月は小屋の半分ぐらいは出ているのだが、今年の豪雪の跡を感じる。

滑降の方は、金冠山の北面が本日のメインデッショ。

この時期、この標高を考えるとますますかな。

4/25

ポートランドは八重咲が散り、藤の花が咲いています。

東京と季節が同じ、直江津よりは2週間早い感じです。

花が綺麗な季節です。

明日のマウントフットは、スキー場上部のティンバーラインロッジから登ります。

2月下旬のスノーパークからは大分標高が高い。頂上に行くには許可が必要なので、頂上には行きません。ただ、9500feet以上に上るための年間パスポートは購入しています。

イルミネーションロックやクレーターロック等見てみたい風景があるので、楽しんできます。

朝食を取ってから8時ごろ出発して9時過ぎにティンバーラインロッジに着いたんですけど、駐車場は満車でスキー客や観光客や登山客で一杯。

ここは観光地ですね。

改めて出直すことにしました。

明日、早起きしたら行こうと思いますが、午後はウィラメット川沿いにサイクリングして疲れてしまったので、どうかな。

5/9

明日、ティンバーラインロッジの駐車場からマウントフットに登りに行きます。

会社の車を借りているのですけれど、タイヤを夏タイヤに換えたので凍結した道路は走れない。

ティンバーラインロッジの朝の気温がプラスになるのを待っていたら、5月になってしましました。

5月なので、2週間前のように駐車場が一杯にならないことを期待します。

下山しました。

前回より 2 時間早く出発して AM7:30 頃駐車場に着いたんですけど、既に結構車が止まっていました。

クランポンを付けてスキーを担いでスキー場の右側の斜面を登っていく。皆スキーにシールを付けて登っていて、スキーを担いでいるのは私だけ見たい。

雪上車によって道ができていたのですけれど、これがあるのはパルマーリフトへの連絡地点まで。

多くの人はここまで登ってゲレンデを滑るみたい。

ここから先は頂上に行く人ぐらい。

正面にクレイターロックと呼ばれる岩塔がある。頂上に行く人は右側を登る様である。

私は左側を 3050m ぐらいまで登る。

クレイターロックの左側はたまに落石があり、クラスト斜面をうなりをあげて落ちていくので上を見ながら注意して登っていく。

振り向くとはるか先にマウントジェファーソン、右側には爪のようなイルミネーションロックの先にポートランド方面を望む。

今日は気温が上がって雪面が緩むのを期待しているが、強風の影響かアイスバーンのまま。

頂上からの滑降は可能だと思うが、今日の雪の状態だと私の技術では危険かな。

登りついた場所はジグザググレイシャーの源頭。

真っ白い斜面がずっと下まで続いている。

今日はアイスバーンでジャンプターンで滑る必要があり、あまり快適ではなかったがパワーの時期は素晴らしい斜面だろう。

5/25

Memorial day 休日を含む 3 連休の初日の明日、オレゴン唯一の国立公園、クレイターレイク外輪山のヒルマンピークを登りに行きます。

昨年夏に行った時の写真を添付します。標高 2000m を越えているので雪はあるでしょう。

ここも完全な観光地なので、場違いな感じでスキーどころではないかもしれません。その場合は単なるドライブですね。

ポートランドからは片道 450km。群馬からだと京都を往復する感じです。

オレゴン州は米国ではとりわけ広くはないんですけど、それでも本州と四国を合わせた面積があるので、カリフォルニアに近いクレーターレイクは遠いです。

ヒルマンピークとほぼ同じ標高の手前のピークまで行きたかったのだけれど、思いのほか遠く、外輪山を歩いただけでタイムリミット。群青の神秘のクレーターレイク。これを見ただけでも満足です。外輪山から湖へのスロープは 40 度ちょいのかつ飛び斜面で、何度も滑

りたいと思いましたけれど、登り返しの大変さを思って諦めました。昔、若い時は富士山頂上から噴火口の底まで滑り降りて登り返していましたけれどね。一緒に歩いていたインド系の人から撮ってもらった写真などを添付します。

5/30

今週も、クレイターレイクに行こうと思います。

先週登ろうとしたヒルマンピークの手前にウォッチマンピークというのがあって展望台があるみたいです。

ここからクレイターレイクを見下ろしてみたい。また、クレイターレイクへのカルデラ斜面の滑降も狙います。

また長いドライブになるかな。日本で乗っている Rav4 と同じく車に定速巡航モードがあるので、これを使って疲れないように行なってきます。

クレイターレイクへの斜面は雪庇が張り出していて、登り返しが大変なので諦めました。

その代わり、ウォッチマンピークに登って展望台からの絶景を楽しみました。

眼下にはウィザー島、奇跡のダークブルーの湖水。北側にヒルマンピーク、その右側の彼方にマウントティールセン、左側がマウントバイレイ、その間がダイヤモンドピークかな。ウォッチマンピークの北側を滑りました。滑り始めの斜度は 40 度ちょっと、フラットな快適斜面でした。標高差 200m なのであっという間でしたね。昨日あたりのシュプールが 2 本、駐車場でスキーを担いでいるのは私だけで今日も場違いな感じでしたけれど、ここを滑りに来る変わり者は私だけではないみたいで、少しホッとしました。駐車場にゲートがあってずっと歩いて来たのですが、来週には外輪山沿いの車道がオープンになるみたいです。

アパートから歩いて行ける近くの試験バラ園や、シャクナゲ、サイクリング中に見かけたアルパカの写真も添付します。

それでは。